

平成23年度 事務事業評価シート（平成22年度実績分）

事務事業名	花ストリート整備事業	部課コード	1712	予算事業科目	010805060491	事単	区分	継続	
所管部署	担当部局	環境部	部長名(2次評価者)	坂本導昭		個別事務	全部	010805060491	-
	担当部署	みどり課	所属長名(1次評価者)	千頭三樹			-		
	電話番号	088-823-9469	E-mail	kc-171200@city.kochi.lg.jp			-		

1 事業の位置付け

予算科目(平成23年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け								
会計	01 一般会計	大綱	01 共生の環	政策基本方針	緑や水辺などの自然は人々に安らぎを与え、多様な生態系を育む場ともなります。市域の森林や川・海の貴重な自然を守り育てるとともに、自然と人の共生文化の基盤となってきた里山、農地などの二次自然については、貴重な自然と位置付け、その保全に取り組みます。さらに、市街地においては、身近に自然に親しむことができる空間の創出を図るなど、森・里・海を通じた環境保全に取り組み、自然豊かなまちづくりを進めます。				
款	08 土木費	政策	02 自然豊かなまちづくり						
項	05 都市計画費	施策	05 みどり豊かな市街地づくり						
目	06 公園費	区分	01 都市緑化対策						

2 事業の根拠・性格

法律・政令・省令	都市緑地法第2条, 第4条	法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等		
その他(計画, 覚書等)	高知市緑の基本計画, 高知市総合計画	

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	高知市民		
意図	どのような状態にしていくのか	市民参加による花壇の維持管理体制を充実し都市の美化を図る。		
手段	事業実施体制等	中心市街地の幹線道路を高知らしい明るい花で飾り、都市景観の向上及び花のネットワークの形成を図る。		
		事業開始年度 平成11年度 事業終了年度		
活動内容	どのような事業活動を行うのか	平成11年度実施から本市の中心市街地の景観として定着している。年度ごとに計画的に幹線道路の花壇への花の植付を行う都都市景観の向上を図る。		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A			
	B			
	C			

4 事業の実績等

			20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(計画)	備考欄
成果指標	A	目標					
		実績					
	B	目標					
		実績					
C	目標						
	実績						
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	13,883	10,414	10,353	9,000	H21年3月に11,000千円増額補正(財源は100%国費)。これを明許繰越し、H21年度事業に充てたもの
		財源内訳					
		国費 (千円)		10,414			
		県費 (千円)					
		市債 (千円)					
		その他 (千円)					
	一般財源 (千円)	13,883	0	10,353	9,000		
	翌年度への繰越額 (千円)	11,000					
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	1,950	1,924	1,872	1,872	職員の事務人件費(担当0.24・課長補佐兼務係長0.01・課長0.01)の3人分
		正規職員 (千円)	1,950	1,924	1,872	1,872	
		その他 (千円)					
		人役数 (人)	0.26	0.26	0.26	0.26	
正規職員 (人)		0.26	0.26	0.26	0.26		
その他 (人)							
総コスト= ① + ② (千円)	15,833	12,338	12,225	10,872			
市民1人当たりコスト (円)	46	36	36		総コスト/年度末人口		
年度末住民基本台帳人数 (人)	340,695	339,714	339,130				

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

電線地中化に伴って高知市のメインストリート在花で飾る事業であり、年3回春秋冬と補植しているもの。
 経費節約のため年々植栽エリアを縮小したり植付密度を薄くしたりしているものの、秋の都市緑化月間に行っているボランティアによる花の植替えイベントの参加者数は200名程度で微増しているところから、都市緑化事業の認知度は保持されている。
 この経費節約と市民の満足度アップという相反する目標を持ち進めている事業なので、その成果の評価は難しい。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 23 年 9 月 1 日）

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	A	4.0	2011高知市総合計画における「みどり豊かな市街地づくり（P90）、災害に強い都市基盤の整備（P196）」によるもの。
		B (3) 一部結びつく			
		C (1) あまり結びつかない			
		D (0) 結びつかない			
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	B		
		B (3) 横ばいである			
		C (1) 少ない、減少している			
		D (0) ほとんどない			
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	B	4.0	毎秋の花の植替え作業の参加市民数は200人前後で微増していることから、この事業が認知されていると考えられる。
		B (3) 概ね達成している			
		C (1) あまり順調ではない			
		D (0) 十分な成果を望めない			
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	A		
		B (3) 概ね妥当である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 見直しが必要である			
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	B	3.0	街路樹の維持に近い意味合いから高知市都市整備公社へのアウトソーシングも考えられるが、国道沿いの緑化事業のため国土交通省との調整が必要であり、市民のボランティア活動等もお願いする事業内容から、市の主体性が必要である。
		B (3) 行政主体が望ましい			
		C (1) 検討の余地はある			
		D (0) 十分可能である			
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	B		
		B (3) 概ね効率的にできている			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 十分可能である			
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	B	3.0	高知市のメインストリート在花で飾る本事業の対象区域は高知市中心市街地の国道や市道に限定しているが、多くの市民が利用し観光客も多い区域であることから高知市全体への効果がある。
		B (3) 概ね保たれている			
		C (1) 偏っている			
		D (0) 公平性を欠いている			
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	B		
		B (3) 概ね適正な負担割合である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 検討すべきである			
総合 点	14.0	総合 評価	A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			○ B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)		
			D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 23 年 9 月 20 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
A 事業継続	都市内緑化を推進する上でも優先度の高い事業であるが、参加者が固定的な面もうかがわれ、市民参加の拡大を図っていく必要がある。
○ B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項